

春つかめ！ 激励受け緊張の背中

樽商大でも共通テスト始まる

大学入学共通テスト初日の17日、後志管内唯一の会場となる小樽商科大でも試験が始まった。志望校合格を目指す受験生たちは、緊張の面持ちで答案用紙に向かった。



試験開始を待つ受験生たち 17日午前9時15分

この日、小樽市内の気温は午前8時時点で氷点下3・8度。冷え込んだものの、小雪が舞う程度で、交通機関のダイヤに大きな乱れはなかった。

同大で受験する志願者は343人で、昨年比21人減。受験生たちは午前8時ごろから、保護者が運転する車や、バス、徒歩で同大に入った。正門付近では、高校の教員らから、激励を受けた。試験会場では、同9時すぎに問題用紙が配られ、9時半からの試験開始を待った。

道内の公立大学を志望する小樽双葉高3年の中橋乃蒼さん(18)は「慌てやすいので、落ち着いて頑張りたい」。道外の私立大を志望する倶知安高3年の小笠原蒼士さん(17)は「緊張してあまり寝られなかった。得点源の化学など理系科目で点を取りたい」と意気込んだ。

初日は地理歴史・公民、国語、外国語を実施。2日目の18日は理科、数学、情報を行う。

(喜代吉健介)